

# てらこやちば 安全対策マニュアル

作成日：平成 25 年

更新日：平成 28 年 10 月 1 日

## <目次>

- 1、はじめに
- 2、連絡先・連絡体制
- 3、事故予防・衛生管理について
- 4、災害時について
- 5、怪我・事故の対応と応急処置
- 6、保険について
- 7、てらこやちば安全5箇条

## 1、はじめに

本紙は、てらこやちばでの活動における安全管理や緊急時の対応についての指針となるものである。てらこやちばで行われる事業、活動は各々これに基づいて安全マニュアルを作成し、周知することで怪我や事故の予防、被害を最小限に抑えることに努める。

## 2、連絡先・連絡体制

各事業において緊急時の連絡先として2，3名（安全担当、統括、事務局、大人運営理事から）を選出する。（安全担当は事業により統括が兼務）

緊急連絡者は

- ・ 随時連絡が取れる体制を取る
- ・ 保護者への連絡体制を周知する

○公機関

- ・ 警察 110
- ・ 火災 救急 119
- ・ 海保 118

○会場

住所や電話番号についての把握を行う。また、それらを事前に保護者にも伝える。

○保護者（大人）

参加の連絡を受けた際に必ず当日の緊急時の連絡先（2つ以上）についての確認を行う。

※プライバシーに関することの管理には十分に気をつける。

各事業の保護者への募集メールに以下の点を確実に記載しておく。

- ・ 緊急連絡者の連絡先
- ・ てらこやちばの SNS のアカウント
- ・ 企画会場の住所、連絡先
- ・ 緊急時の広域避難場所
- ・ アレルギーやその他に関する特記事項

## 3、事故予防・衛生管理について

各場面において想定される危険・事故についてあらかじめ予防策を定める。移動やレク、全体面でひとつひとつを各担当が起こりうるすべての怪我、事故を想定する。また、それ

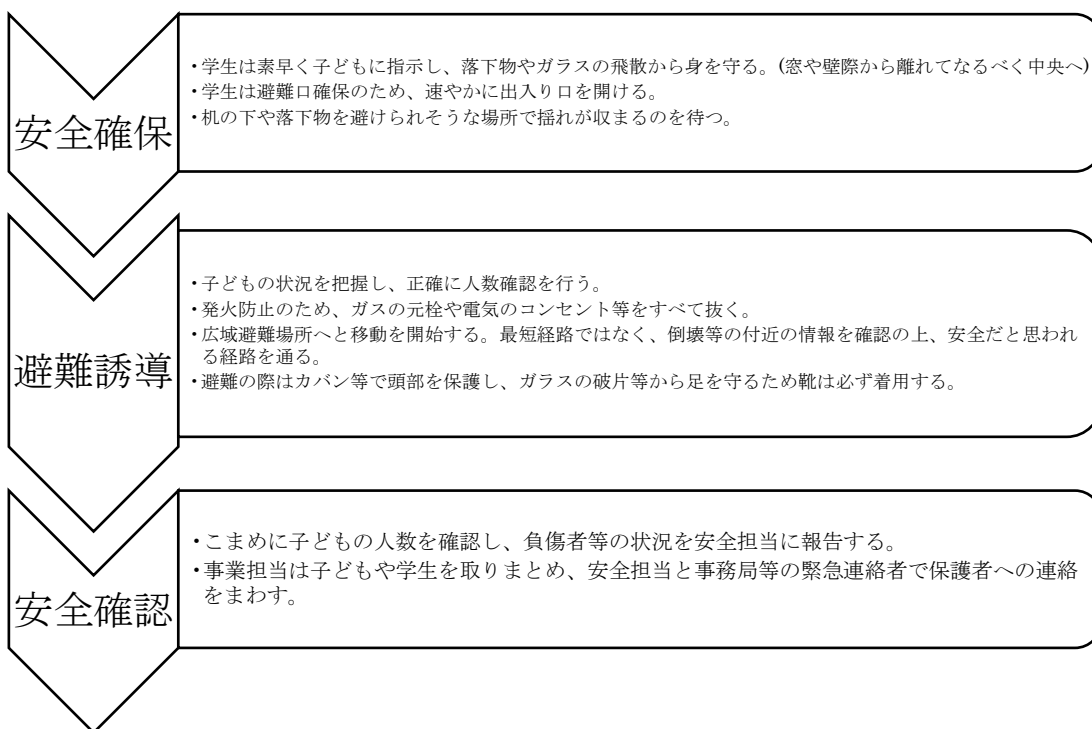
らに対する予防策を決め、企画運営学生全体で共有する。

衛生面に関しては、食前や屋外から帰って来た際の手洗いうがいを励行し、アルコール消毒を徹底することで流行り病の感染等を防ぐ。

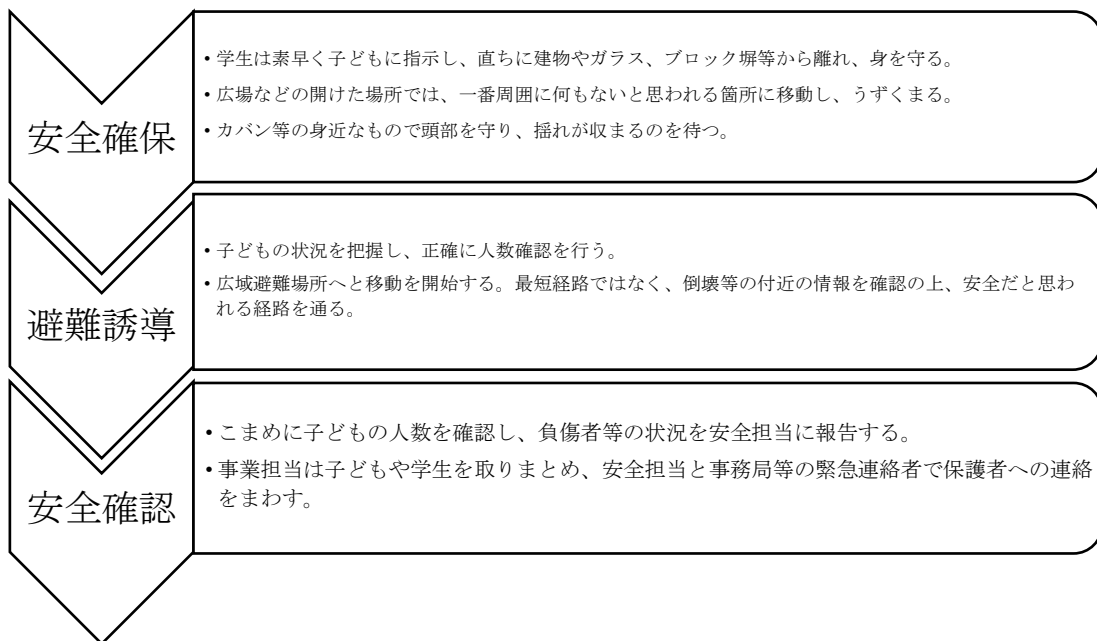
## 4、災害時について

### ●地震

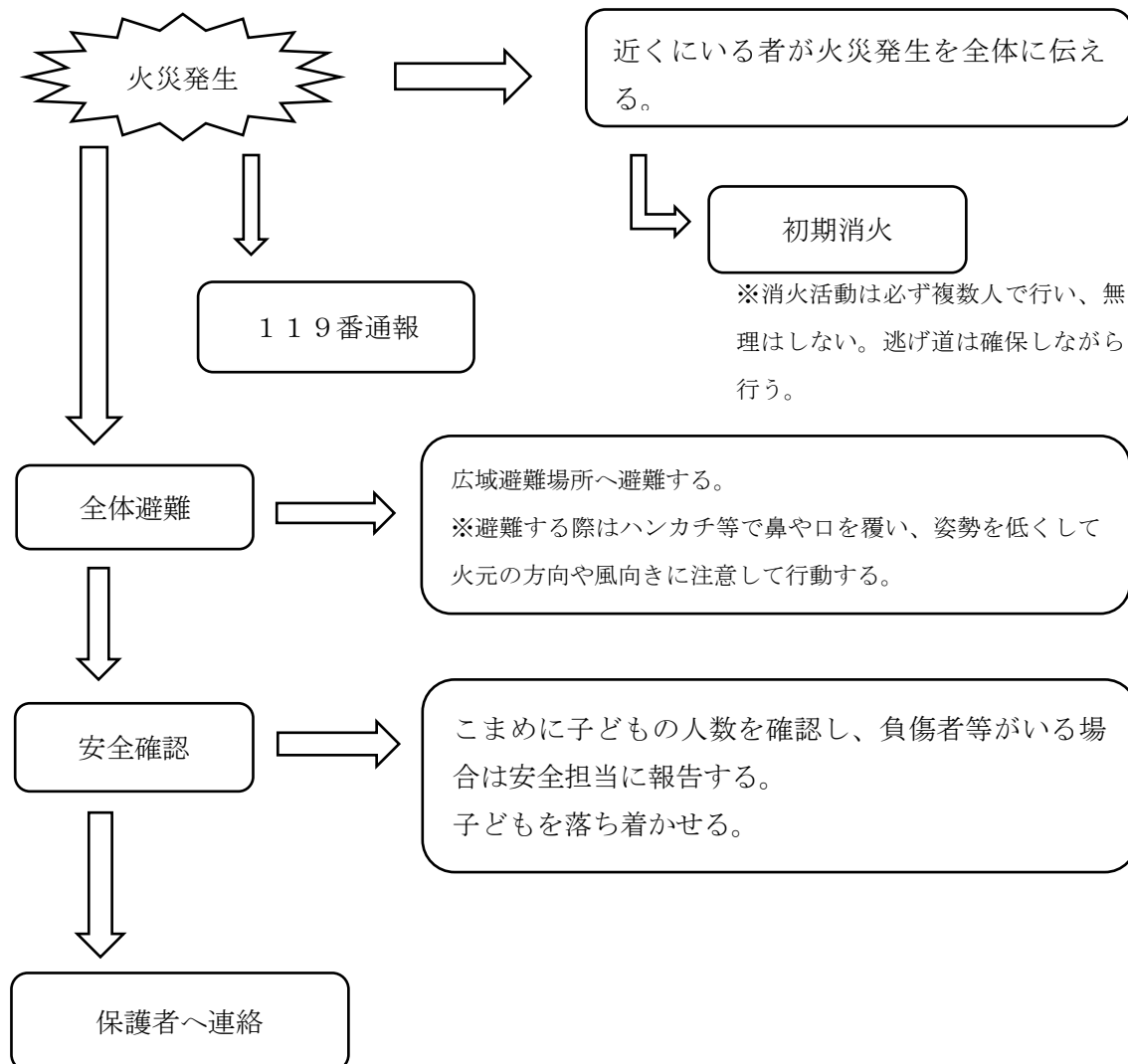
《室内の場合》



《屋外の場合》



●火災



● 避難場所

被災時の集合場所（広域避難場所）を事前に決めておき、それを参加者・保護者に伝えておく。

● 保護者への連絡と引き渡し

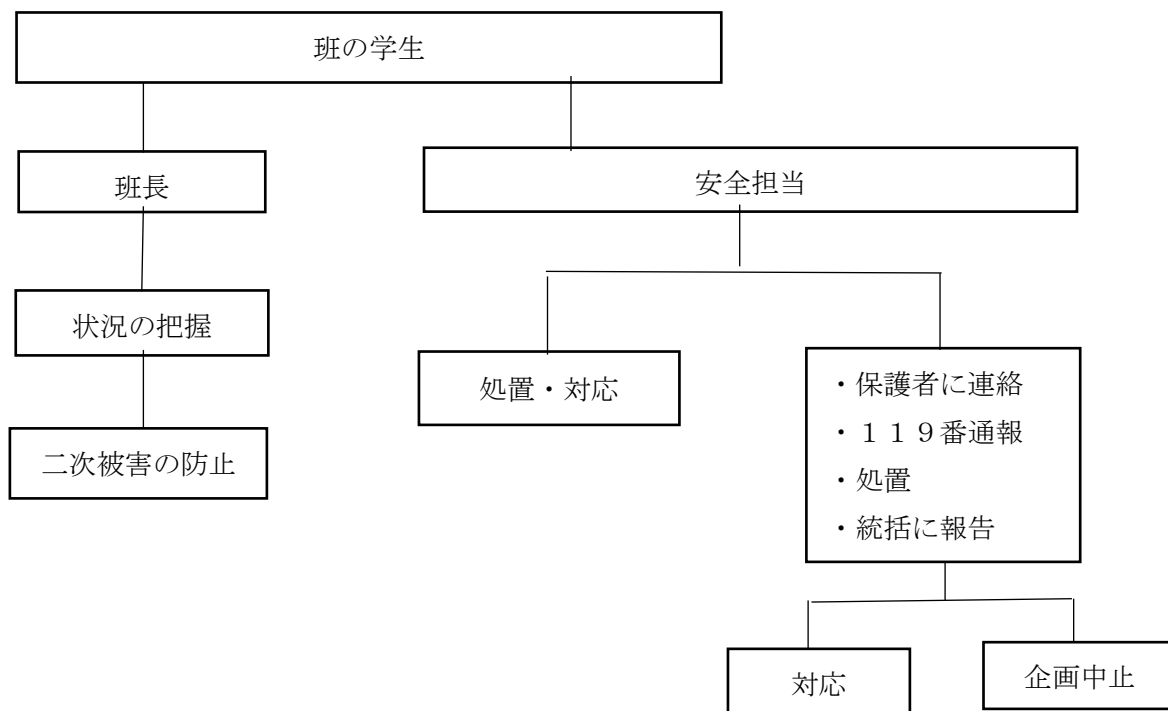
参加者名簿に記載されている緊急連絡先へ連絡する。電話が使えない場合はメール又はSNS（facebook・twitter）を利用する。また、子どもの引き渡し場所は近くの広域避難場所とする。 ※広域避難場所以外の場合に避難する場合はその都度連絡をする。

## 5、怪我・事故の対応と応急処置

万一、不測の事態が起きた場合は、子どもたちの安全を最優先して、迅速に対応し、事故の状況により、直ちに活動を中止するなどの措置をとる。

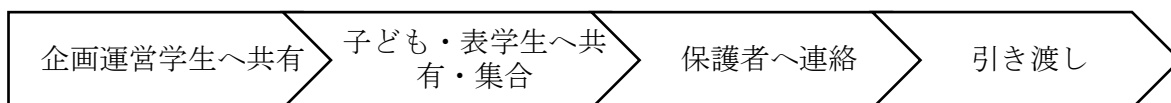
● 企画中の連絡体制

・怪我・事故が発生した場合には、以下の順に連絡を取り、指示を仰ぐ。



※企画の中止等に関わる判断は、企画統括・安全担当・事務局の協議によって行う。

〈中止になった場合の流れ〉



※怪我の場合、軽微なもの(その後の活動に影響がないと思われるもの)は対応・処置を行い、活動後のお迎えの際に報告を行う。(報告は原則安全担当が行い、企画規模等によって安全担当だけでは難しい場合は班長が代わって行う。)お迎えが無かった場合は別途連絡する。軽微以上の怪我(その後の活動に影響があると思われるもの)はその場で安全管理担当が保護者に確認を取り対応する。

#### ●怪我・事故等の記録

企画中に発生した怪我や事故に関しては、処置に携わった学生が以下の項目を記録し、保護者に報告する。

- ・名前 (+班)
- ・時間
- ・けがの種類、部位
- ・けがをしたときの状況
- ・処置方法

#### ●救急セット

〈救急セットの中身〉

本部用→絆創膏・ガーゼ・テープ・消毒液・湿布・冷却剤・ポケットティッシュ・ウェットティッシュ・冷えピタ・体温計・ピンセット・つめきり・はさみ・バンダナ・ゴム手袋・アルコール・塩分補給タブレット

各班用→絆創膏・ガーゼ・テープ・消毒液・湿布・冷却剤・ポケットティッシュ・ウェットティッシュ・塩分補給タブレット

#### ●具体的な病気と怪我の応急処置

《内科系》

※鎮痛剤や風邪薬等の投薬は原則として、行わない。ただし、子どもが持参したものについては例外とする。

疾患	症状	原因	応急処置
発熱	・ボーっとしている	・あらゆる病気の始まりである	1、熱を測る 2、安静にして氷枕等で冷やす

	・顔が赤い	ことが多い。	<p>3、同時に見られる症状(頭痛、吐き気、咳、鼻水等)に注意する。</p> <p>4、脱水症状になりやすいため、水分補給をする。</p> <p>5、熱が 37.5 度以上の場合は保護者に連絡して帰らせる。</p>
頭痛	・原因によって痛み方や痛む部位が異なる。	・ストレス ・偏頭痛 ・風邪 など	<p>1、静かな場所で安静にさせる。</p> <p>2、急を要する場合、または1時間程度様子を見ても変化のない場合は保護者に連絡する。</p>
腹痛	・原因によって痛む部位が変わる。	・便秘、下痢 ・ストレス ・食中毒 ・腹部打撲 など	<p>1、検温、排便を促す。</p> <p>2、排便のないときは、お腹をさすり保温などをしながら様子を見る。</p> <p>3、急を要する場合、または1時間程度様子を見ても変化のない場合は保護者に連絡する。</p>
下痢	・便の水分が多い。 ・腹痛を伴う場合がある。	・食べ過ぎ ・食中毒	<p>1、検温、排便を促す。</p> <p>2、同時に見られる症状(発熱や嘔吐、腹痛など)に注意する。</p> <p>3、脱水症状に注意する。</p> <p>4、急を要する場合、または1時間程度様子を見ても変化のない場合は保護者に連絡する。</p>
嘔吐	・顔色が悪い。 ・ぐったりしている。	・食べ過ぎ ・自家中毒 ・頭部打撲 など	<p>1、保護者に連絡する。</p> <p>2、嘔吐物による窒息や誤飲予防のため、顔を横に向けて寝かせる。</p> <p>3、精神的緊張、疲労のときはゆっくりと眠らせると回復することが多い。</p> <p>※→吐物処理の方法</p>
熱中症	・ふらふらする ・めまい ・体がだるい ・頭痛	・高温、多湿な環境 ・水分不足 ・寝不足	<p>1、涼しい場所に移動し、衣服を緩めて風通しをよくする。足を上げて楽な体勢にする。</p> <p>2、アイスパック等で体を冷やす。(首やわきの下、太ももの付け根を冷やすと体温が下がりやすい。)</p> <p>3、スポーツドリンク等で水分補給をす</p>

			る。 4、急を要する場合、または1時間程度様子を見ても変化のない場合は保護者に連絡する。
--	--	--	---

《外科系》

※傷口の処置をする時等は必ずゴム手袋を着用する。

疾患	症状	応急処置
切り傷 擦り傷	・皮がむける ・出血する	1、傷口を水でよく洗う。 2、傷口を消毒する。 3、消毒ガーゼを当てる。 4、5分以上出血が止まらない場合は保護者に連絡し、医療機関にかかる。
突き指 挟み傷	・内出血	1、アイスパック等で冷やす。 2、湿布をしておく。 3、傷の状態に応じて、保護者に連絡し、医療機関にかかる。
火傷	・赤み ・腫れ ・水ぶくれ	1、流水で患部が冷えるまで冷やす。(20~30分) ※衣服等は無理に脱がさずそのまま冷やす。 2、ガーゼを当てる。 3、傷の状態に応じて、保護者に連絡し、医療機関にかかる。
鼻血		1、座位にして、顔を下に向ける。 2、鼻の付け根から小鼻をつまんで安静にする。 3、額から鼻にかけてアイスパック等で冷やす。 4、30分以上出血が止まらない場合や、出血の原因が頭部打撲の場合は保護者に連絡し、医療機関にかかる。
打撲 (頭部・胸部・腹部・その他)	・患部の痛み ・腫れ ・赤み ・皮膚出血 ・咳き込み	1、意識・呼吸に異常がある場合は、保護者に連絡し直ちに119番通報し、その間心肺蘇生を行う。 2、意識・呼吸等に異常がない場合も、保護者に連絡し医療機関にかかる。 3、安静にし、出血がある場合は圧迫・止血、腫れがある場合は冷却を行う。 ※患部が首から下の場合は、衣服を緩める。



		<p>4、患部が首から上の場合は、受傷から時間がたつてから症状が出る可能性があるため、24時間は観察が必要であることを必ず保護者に伝える。</p> <p>★救急車要請の判断</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭部→繰り返し吐く、猛烈な頭痛、意識低下、けいれん、耳・鼻からさらさらした液体が出ている、大量出血</li> <li>・胸部→呼吸異常、唇や爪が青い、意識低下、大量出血</li> <li>・腹部→繰り返し吐く、猛烈な腹痛、意識低下、大量出血、血尿、吐血、顔色が悪い</li> </ul>
捻挫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・痛み</li> <li>・腫れ</li> <li>・内出血</li> </ul>	<p>1、R I C E処置を行う。</p> <p>R [rest]安静 動かさない</p> <p>I [icing]冷却 アイスパック等で冷やす</p> <p>C [compression]圧迫 血流を押さえて内出血量を減らす。</p> <p>E [elevation]挙上 支えなどを使って心臓より高くする。</p> <p>2、腫れがひどい等の場合は、保護者に連絡し、医療機関にかかる。</p>
骨折	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変形</li> <li>・痛み</li> <li>・腫れ</li> <li>・内出血</li> </ul>	<p>1、皮膚の色が著しく変化している、熱を持っている、自力で歩くことが難しい等の骨折と思われる症状が出ている場合は、保護者に連絡し直ちに医療機関にかかる。</p> <p>2、添木になるようなものをあて、包帯や布で固定する。</p>
とげ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちくちく痛む</li> </ul>	<p>1、ピンセット等を使って針を抜く。(無理に指でいじくらない)</p> <p>2、流水で傷口を洗い流し、絆創膏を貼る。</p>
ハチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショック症状</li> <li>・痛み、かゆみ、腫れ</li> </ul>	<p>1、その場から離れる。</p> <p>2、ピンセット等で針を抜く。(手に毒がつかないように注意しながら)</p> <p>3、患部の周囲をつまんで、流水で毒を洗い流す。</p> <p>4、安静にし、患部を冷やす。</p> <p>5、傷の状態に応じて、保護者に連絡をとり医療機関に係る。</p>

## 6、保険について

《学生》

・本企画に参加する者（植草学園大学・植草学園短期大学に所属する者は大学にて別途加入済みのため除く）は、社会福祉法人全国社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」へ加入する。

○補償内容

ボランティアがボランティア活動中の急激かつ偶然な外来の事故によりけがをした場合や偶然な事故により他人をけがさせたり、他人の物を壊したことにより法律上の損害賠償を追われた場合。

- ・ボランティア自身の食中毒や特定感染症
- ・熱中症、日射病、熱射病等 ・台風などの風水害によるけが

○補償期間

保険加入日～年度末日

○事故が起これば

ただちに、加入申し込み手続きを行った社会福祉協議会を通じて、次の事項を日本興亜損保まで連絡する。（事故発生日から 30 日以内）

- ①ボランティアの氏名，住所，連絡先
- ②事故発生の日時，場所
- ③事故の原因，状況
- ④けがの程度，病院名（傷害事故）
- ⑤相手の氏名，住所，連絡先，けが又は損害の程度（損害事故）

○問い合わせ先

取扱い代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL03-3581-4667 FAX03-3581-4763

《子ども》

・本企画に参加する子どもは、原則、日新火災海上保険株式会社の「普通傷害保険（レクリエーション損害保険）」へ加入する。

○補償内容

被保険者が急激かつ偶然な外来の事故により怪我等を蒙った場合。

○補償期間

企画当日の午前0時から午後12時まで

○事故が起これば

ただちに TEL : 0120-25-7474 (日新火災事故受付サービス 24) に連絡し、てらこやちばの団体名と参加者の名前・連絡先・事故状況を報告する。

○問い合わせ先

日新火災海上保険株式会社

〒101-8329 東京都千代田区神田駿河台 2-3

日新火災テレフォンサービスセンター

TEL : 0120-17-2424 (平日 9:00~20:00 土日祝日 9:00~17:00)

日新火災事故受付サービス 24

TEL : 0120-25-7474 (24 時間 365 日)

【取扱い代理店】

合同会社ワンダア・コミュニケーションズ 担当 和田

TEL : 047-394-4306 (24 時間)

## 7、てらこやちば安全 5 箇条

- 1、 注意一瞬、ケガ一生 (夢中な時ほどケガをする)
- 2、 メリハリ! (ダメなものはダメ)
- 3、 体調管理 (無理しない)
- 4、 報連相 (1人で悩まない)
- 5、 平常心 (どんなときも落ち着く)